

中部地方更生保護委員会 保護観察所（保護観察官）

～地域社会とともに立ち直りを支える～



立ち直りを支えるとは

罪を犯した人が、罪を償い、再び犯罪をしないようにするには、立ち直りを決意した人を地域社会で受け入れていくことが重要です。

犯罪や非行をした人を社会の中で適切に指導・支援し、地域社会の理解・協力を得て、立ち直りを助けることにより、安全・安心な地域社会を作る。

これを「更生保護」といいます。

保護観察官とは

保護観察官は、更生保護において中心的な役割を担う専門家です。

刑事司法や心理学、教育学などの様々な専門的知識を用いながら罪を犯した人や非行のある少年たちとの面接を重ね、保護司をはじめとした民間のボランティアの方々や関係機関と協力しながら必要な指導や支援を行い、彼らが地域社会の中で立ち直るのを支援していきます。

先輩職員からのメッセージ

2023 年度採用 法務事務官（男性）

中部地方更生保護委員会に採用され、現在は事務官（庶務係）として、職員の給与に関する業務を担当しています。

周囲の職員のサポートが手厚く、研修を受ける機会も多々与えられるため、それらを通して保護観察官の前提にある国家公務員としての基礎から固めることができます。

2年目、3年目からは、周囲から支えられるだけでなく後輩を支える機会も増えるため、更生保護の現場に触れながらそれらの大切さや難しさを学ぶことができます。

保護観察官は人との関わり合いが大切になります。事務官のうちから多くの機会に恵まれるため、それを通して自身も成長していきることが大きな魅力だと感じています。興味のある方は、是非業務説明会等にお越しください。

2017 年度採用 保護観察官（女性）

名古屋保護観察所に採用された後、中部地方更生保護委員会で勤務し、採用後5年目で保護観察所にて保護観察官として働き始めました。

更生保護は刑事司法の最後の砦とも言われています。それを担う私たちは、緊張感を持ちながらも、お互いに励まし合いながら仕事をしています。罪を犯した人の背景や経緯は誰一人として同じではありません。そのため、学んできた専門知識だけでなく、これまでの人生経験を試されるかのような難しい場面もありましたが、同僚だけでなく民間の方々とも協力しながら乗り越えていけることが、この職場の強みであり、魅力であると思います。

また、休暇の取得がしやすく、育児休業の取得などの福利厚生も充実しているため、プライベートも大切にできる職場だと感じます。

やりがいがあり、
働きやすい職場だね



更生保護マスコットキャラクター
ホゴちゃん

勤務地

原則として採用された地方更生保護委員会及びその管轄内の保護観察所で勤務します。中部地方更生保護委員会の管轄内には、富山、金沢、福井、岐阜、名古屋及び津の6つの保護観察所があります。

- ・ 地方更生保護委員会：主として仮釈放等の事務を行う。
- ・ 保護観察所：更生保護の第一線の実施機関として、保護観察や生活環境の調整等の業務を行う。

職員数

中部地方更生保護委員会及び管轄内の保護観察所では約200人の職員が働いており、そのうち4割近くが女性職員です。

採用実績

(単位：人)

採用年度	2023年度	2024年度	2025年度
法務省専門職員(人間科学) 保護観察官区分	6(4)	6(4)	4(4)
一般職大卒(行政)	0(0)	0(0)	1(1)
一般職高卒(事務)	1(0)	0(0)	0(0)

※()書きは女性の内数

採用後のキャリアパス



採用情報・問合せ先

法務省専門職員(人間科学)採用試験(保護観察官区分)合格者から採用するほか、国家公務員採用一般職試験合格者からも採用しています。詳細については、採用時期にホームページに掲載します。

中部地方更生保護委員会事務局総務課(採用担当)

〒460-0001

名古屋市中区三の丸4-3-1 名古屋法務合同庁舎B棟4階

電話：052-951-2944



中部地方更生保護委員会
ホームページ